

## 令和8年度 第1学期 始業式 校長の話

生徒の皆さん、おはようございます。進級おめでとうございます。

今日から令和8年度が始まります。新しい先生方を迎え、皆さんの顔を見て、またここから新しい年度が本格的に始まるなと感じています。第1学期の始業式は、学校にとっての「元旦」にあたるといえます。

ここからの一年をどう過ごすか、そのスタートラインに立っているわけです。そこで、今日は皆さんに、3つのことを話します。

今年度、まず皆さんに意識してほしいのはいつもの話ですが、それは授業を大切にする姿勢です。3月の成績会議では、残念ながら進級できなかった生徒が多くいました。中学校までは、どんな成績でも進級できたかもしれません。しかし高校は違います。高校は“授業が中心”の場所です。授業に出席する、話を聞く、提出物を出す。これは特別なことではなく、当たり前のことです。では、「授業を大切にする」とは、どういうことでしょうか。少し時間をおきますので、各自考えてみましょう。

それは、ただ教室に座っていることではありません。板書を写すだけでもありません。先生の話聞きながら、「なぜだろう」と考えてみる。板書にはないけど先生の話メモをする。質問に当てられなくても、心の中で答えを考えてみる。こうした一つ一つが、授業を大切にする姿勢でありとおもいます。同じ教室、同じ授業でも、「なんとなく聞いている人」と「考えながら聞いている人」では、成果が大きく違ってきます。

研究によれば、「いやいや勉強する」のと「自分から学ぶ」のでは、同じ授業を受けても力の伸びが1.5~2倍違うと言われていています。

この“当たり前”ができるかどうかで、進級も、卒業も、そして将来も変わっていきます。進級できた人も油断せず、「わからない」「苦手だ」と感じる教科があるなら、まずは授業を真剣に受けることから始めましょう。遅刻や欠席を“さぼり”で増やすことがないようにお願いします。

皆さんは本来、大きな力を持っています。授業をしっかり受けるだけで成績が伸びた生徒はたくさんいます。今年度も「やればできる」という自信を積み重ねていきましょう。

二つ目は、「心と体を鍛えること」です。

皆さんは知っているとおり本校には14の運動部、10の文化部があります。施設も整い、指導して下さる先生方もそろっています。また、遠足、文化祭、体育祭、ロードレース大会、修学旅行など、行事もたくさんあります。しかし、部活動の加入率は2・3年生で40%ほど。部員が多い部活もあれば、人数が足りず活動が難しい部活もあります。もし一度やめてしまった人がいたら、もう一度挑戦するのはどうでしょうか。新しい部活に入ってみるのも良いと思います。「やってみよう」と思ったその一歩が、皆さんの世界を広げます。

部活動は、技術や知識だけでなく、仲間と協力する力、最後までやり抜く力、責任感など、社会に出てから必要な力を育ててくれます。

また、学校行事やホームルーム活動にも、先ほどの授業と同じように主体的に取り組ん

でほしいと思います。みんなで協力して頑張る機会はたくさんあります。その中で、成功体験はもちろん大切ですが、それと同じくらい失敗から学ぶことも大切です。どんな偉業を成し遂げた人でも失敗や挫折を味わっています。失敗を恐れず、様々なことに主体的に取り組んでください。野球界で世界的に有名なイチローさんはこう言っています。

「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」これは、部活動にも、学校行事にも、日々の生活にも当てはまります。

そして、生活の基本も大切です。

- ・朝ごはんを食べる
- ・時間を守る
- ・挨拶をする
- ・服装を整える
- ・睡眠をしっかりとり
- ・マナーを知り、これを守る

こうした“当たり前”が、皆さんの心と体を支える土台になります。

2年生、3年生になると、悩むことも増えるかもしれません。勉強、進路、人間関係…。でも、それは悪いことではありません。成長している証です。困ったときは、自分の悩みは何なのか、心で思うだけでなく、先生や家族、友達カウンセラーの方に悩みを相談してみると精神的にも楽になると思います。相談することは弱さではなく、前に進むための力です。

三つ目は、「整理整頓」についてです。

今日の午後、184名の新入生が入学してきます。

皆さんは上級生として、部活動でも行事でも、狭山清陵高校の良い伝統を伝えていく立場になります。そのために、教室や部室、活動場所をきれいにしておきましょう。新入生が来ても恥ずかしくない環境をつくるのが、先輩としての第一歩です。大リーグで活躍中の大谷翔平選手も、ゴミを拾うなど、環境を整える行動を大切にしています。皆さんも、気づいたら動く、そんな姿勢を持ってほしいと思います。身だしなみも同じです。

「注意されないからいい」ではなく、「注意される前に整える」ことが大切です。最後に、3年生は、卒業後の進路がすぐそこまで来ています。2年生は、学校の中心として動く一年になります。どちらの学年も、今より一歩上を目指してほしいと思います。令和8年度、この一年、皆さんが成長し、「よかった」と思える毎日をみんなで作っていきましょう。以上で、校長の話が終わります。